

Gateway to Korea

日系企業駐在員のための
Advanced Executive Program



YONSEI UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF PUBLIC ADMINISTRATION

大学紹介

延世大学は

‘真理と自由’の精神によって社会に貢献するリーダーを育成するという教育理念のもとに、延世(ヨンセ・연세)大学は1885年創立後、「韓国最高の私学」という評価にふさわしい堅固な教育システムを通じて、社会の各分野にわたって多くの傑出した人材を輩出してきました。

また、急速な社会変化の流れに足を揃え、延世大学は行政大学院最高位政策プログラム(AEP)を通じて、国内経営者及び様々な分野で活躍するオピニオンリーダーを主な対象としたトップレベルの教育を提供し、創造的な変化を先導することで、より高い水準で人類と社会発展に貢献しています。

特に、延世大学の行政大学院最高位政策プログラムは韓国社会の各界にオピニオンリーダーとして進出している同門ネットワークの活発な交流を誇り、国内各種の機関で行われた調査では、全国大学最高位プログラムの評価で1位を取得するなど、名実共に韓国一の政策大学院として認められています。

한국경제

2015년 2월 25일 목요일 A 13

한경, 2016 대학 최고위과정 평가

법·행정 연세대, 유통·패션 서울대 1위

정리과정, 대기업 임원은 연대
중소기업 임원은 고려 선호
이공계열은 서울대 공대,
인문계열은 연세대 1위

법·행정계열 최고위과정 선호
도 소수에서는 연세대 행정대학원
최고위과정(법과), 유통·패션계
열에서는 서울대 경영대학원 계
선인법학교장양자 등이 **최고위
위대 졸업자**
법·행정계열 16개 최고위과정
평가에서 연세대 행정대학원 최고

위과정평가는 지난해 1위인 고려대
대 행정대학원 최고위과정(법과)을
제치고 올해 1위로 올라섰다. 고
려대 정책대학원 최고위과정(공
은 올해 5위로 자리를 바꿨다. 서
유대 행정대학원 국가정책학장이
3위, 고려대 행정대학원 최고위단
과장이 3위, 서울대 법과대학 최
고위과정(공과)이 4위를 차지했다.



정리과정은, 금융업 임원은 서울
대 행정대학원 국가정책학과장을 가
장 선호한다고 밝혔다. 일부 및 공
공기관 총괄자는 중앙대 행정대학
원 최고위과정(법과)을 1위로 꼽아
없을 없었다.

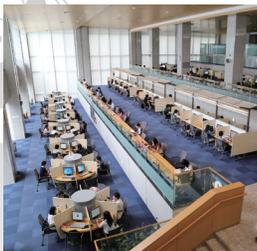


差別化された 教育環境

延世大学は最良の教育環境を提供するために発展を重ねてきました。130年の歴史と伝統を持つキャンパスは韓国近代化の遺産をそのまま保存しながらも、2015年の大規模リフォームで「車なし道路」を作り、キャンパスを都心の美しい公園へと変化させました。

現在は現代と自然が絶妙な組み合わせを誇るエコ・キャンパスとして進化し、「デートしたいキャンパス」、「家族連れで散歩したいキャンパス」としても愛されています。

また、講義室には様々な教育コンテンツをワンタッチで手軽に使える最先端施設が用意されており、日系企業駐在員の皆様に最適なグローバル教育環境を提供しております。



招待の言葉



皆様を歓迎致します。

新しい知識を作り出して、それを受け継ぎ、また伝えることは大学に与えられた最も基本の責務の一つと言わざるを得ません。大学は知識を伝播しながら社会と疎通し、さらには他の国、他の文化とも対話することになります。延世大学は1885年の創立以来、常に国外とのコミュニケーションに重点を置いて韓国と国際社会のコミュニケーションの中でも一番先頭に立ってきたと信じています。

『Gateway to Korea』は韓日関係の新たな100年を開く礎で、我が行政大学院が2016年から野心的に発足させたプログラムです。21世紀は感性ネットワークの時代です。単なる利益追求のために会うのではなく、お互いを理解し共感する中で'共にする'ネットワーク時代へと変わっています。

国交正常化51年を迎えた韓国と日本。両国がこれからの50年、100年の協力と理解の時代を開いていくためには互いを共感し、共に行こうとする努力が必要です。この努力こそが北東アジアの平和を開く鍵となるでしょう。

このプログラムが韓日関係の新たな主役が生まれる産室として、また両国の未来をより幅広い疎通と理解へと導くリーダーシップの宝庫として位置づけられることを心からお祈りします。

延世大学総長

キム・ヨンハク(김용학)

皆様を延世大学にご招待します。

韓国最高の名門私学、延世大学の行政大学院で新たな教育プログラム、“Gateway to Korea”を開発しました。

この特別な教育プログラムは韓国で活動する日系企業駐在員のために提供されるもので、韓国社会の様々なシステムの特徴や要因を紹介します。韓国社会も日本と同じく複雑な原理によって動いている社会です。政治、外交、経済、社会、市場、文化など色々な分野の動力が有機的に作動します。

このプログラムの12週間の教育を通して、韓国社会で活躍するために最も重要な特徴を紹介します。皆さんは韓国社会に対し、より深い理解力を身につけられることでしょう。また、このプログラムを通じて、韓日両国民の間で相互理解が進み、拡大することを期待します。

隣り合っている両国の関係で、民間レベルでの相互理解は何よりも大事な要素です。韓国と日本の民間交流とコミュニケーションは政府間関係よりずっと長い歴史を持ちます。これからの韓日関係はさらに長い未来を作り出していかなければなりません。このプログラムで皆さんは韓日関係の未来をより拡張された協力の時代へと拓く牽引車となるでしょう。

韓国、そして韓日両国の未来に深い関心を持った皆さんを延世大学の行政大学院『Gateway to Korea』にご招待することを光栄に存じます。

延世大学行政大学院長

キム・キジョン(김기정)



プログラム 紹介

「Gateway to Korea」、AEPとは

延世大学行政大学院が2016年に新しくローンチングした
日系企業駐在員のためのプログラムです

概要

1 内容

韓国最高峰の私立大学である延世大学の有名講師陣及び各分野の著名人が、韓国でのビジネス成功に必須不可欠である、韓国の政治・社会・文化・経済に対して、これまでの歴史的歩と現況、そして今後の展望を、詳しく、分かりやすくお伝えします。さらに、韓国での人事・組織戦略及び、リーダーシップとコミュニケーション戦略など、韓国独特の社会風土に適したビジネス戦略を現場中心の事例を通じてご説明します。

また、延世大学と繋がり深い各分野のキーパーソン及び経営者ネットワークを共有し、韓国でのビジネス成功を幅広くサポートします。

2 プログラム対象及び定員

- ・対象：韓国在住の日系企業(及び政府機関など)駐在員、又は研修者
- ・定員：1期30名限定(※先着順)

3 プログラム期間

全12週、週1日(水曜日)、19時～21時半、2時限構成
(※18時～19時に休憩室にて夕食を提供致します)

4 登録費

395万won(KRW)

5 講義言語

日本語(※場合により同時通訳を行う)

6 第2期開講日及び登録期間

- ・開講日：2017年3月15日(※3月8日オリエンテーション)
- ・募集期間：2016年12月19日～2017年3月7日(※30人目以後の申込者は受付「待機」となる)
- ・登録金納付期間：2017年2月13日～3月7日(※30人登録時点で受け付け終了)



プログラム 紹介

Advanced Executive Program

特典

① 総長からの修了証授与

修了者には、延世大学総長名義の「延世AEP修了証」が授与され、「延世大学同門生」となります。「学縁」等、人脈が重視される韓国社会にて、延世大学の同門生になることで、ビジネス現場だけでなく、韓国での生活において多方面で活躍することが出来ます。

② 国内高級ネットワークの構築

2回にわたる「Networking Party」を通じて、延世大学が持つ財界・法曹界・言論界・政界などの幅広いネットワークを共有することによって、韓国でのビジネスの成功に力強い「仲間」を作ることが出来ます。

③ 語学堂の登録費割引

国内最高の韓国語教育機関である、「延世大学語学堂」の授業料20%割引を、「AEP」登録者だけでなく、同じ会社の駐在員及び家族にまで提供します。

④ セブランズ病院の健康診断サービス割引

韓国最高の大学病院である「セブランズ病院」の健康診断サービスを、「延世大学同門生」として20~30%割引します。



カリキュラム

前期

週	テーマ	内容
1	韓国の政治外交	1時限：韓国政治、歴史的歩みと現在の座標 2時限：韓国の外交と日韓関係
2	北朝鮮と安保問題	1時限：北朝鮮と南北分断の理解 2時限：韓国の安保問題と南北関係
3	韓国でのリーダーシップ・コミュニケーション戦略	1時限：韓国企業現場でのリーダーシップ 2時限：経営現場における通訳の正しい活用法
4	韓国の文化	1時限：韓国の伝統文化と芸術 2時限：ベトナム戦争から見る韓国社会文化分析
5	韓国でのマーケティング・セールス戦略	1時限：最新マーケティング戦略と事例 2時限：最新セールス戦略と事例
6	韓国文化現場訪問	文化/歴史/政治をテーマに現場訪問 (例：国会/大手芸能プロダクション本社、等)
中	第1次Networking Party	韓国でのビジネス成功のための、 延世大学ハイレベルネットワークを構築

後期

週	テーマ	内容
7	韓国社会の「マスコミ」と「政治」	1時限：韓国社会とマスコミ 2時限：韓国政治の意思決定過程、 87年体制の限界
8	韓国人、そして、韓国社会	1時限：韓国社会の分析 2時限：韓国人のメンタリティー
9	韓国大手企業の戦略分析	1時限：サムソンの革新とグローバル戦略
	韓国企業における労務管理	2時限：韓国企業現場における労務管理
10	韓国の経済と企業	1時限：韓国経済、激動の歴史と展望 2時限：韓国企業の特徴と企業文化
11	韓国での人事・組織戦略	1時限：韓国でのオペレーション戦略 2時限：生産性向上につながる人事制度戦略
12	日系企業経営者の現場体験談	日系企業経営者から聞く、 韓国ビジネス現場での経験談
末	修了証授与式	第2次Networking Partyを兼ねての修了証授与式

(※講師の事情などにより、カリキュラムの詳細テーマ及び日程を変更することがあります)

Networking Party

Advanced Executive Program

1次 Networking Party

ビジネス、特に新たな舞台への進出と成長を成し遂げるためには現場でのネットワークは必須不可欠な要素です。

延世大学のAEPでは日系企業駐在員の皆様が韓国でのビジネス成功だけでなく、韓国においてのより楽しく活気あふれる活動をサポートするため、延世大学が持つ財界・法曹界・言論界・政界における幅広いネットワークを共有できる機会を提供します。

韓国社会各界のオピニオンリーダー、経営者、そして当プログラムの講師陣を招待するNetworking Partyは、皆様のビジネスの成功における力強い「仲間」作りの場となるでしょう。



修了証授与式及び、2次Networking Party

当AEPの全過程を修了した方には、延世大学総長名義の「延世AEP修了証」が授与され、「延世大学同門生」となります。

また、韓国最高の名門私学である延世大学の同門生になることを祝う授与式では、1次Networking Partyと同様、韓国社会で大きく活躍する同門生の方々及び講師陣を招待し、2次Networking Partyを開催します。

この2回に渡るネットワークづくりを通じて、参加者皆様の韓国でのビジネス活動を積極的にサポートしていきます。



主な講師陣 (第1期)

Gateway to Korea の全講座には、日系企業駐在員のための韓国の政治・経済・社会・文化及び、韓国でのビジネス戦略における最高の講師陣を構成しております。



イ・オリョン(이오령) 博士

- * (現)韓中日比較文化研究所理事長
 - * (現)奈良県立大学名誉学長
 - * (現)奈良県顧問
 - * (前)初代文化部長官
 - * (前)梨花女子大学碩座教授
 - * (前)中央日報顧問
- ソウル大学国語国文学学士
檀國大學校国語国文学博士

- * 『縮小志向の日本人』(1986)
- * 『Red Devil(韓国代表応援団)文化コードで読む21世紀』(2002)
- * 『若者よ、韓国を語ろう』(2003)
- * 『人文学コンサート』(2011)
- * その他、全258の著書を持つ韓国最高の知性人が韓国社会と韓国人に対して100分間特別講義を行います。

テーマ:「韓国人と韓国社会」



カン・イントク(강인덕) 博士

- * (現)日本聖学院大学名誉教授
 - * (前)統一部長官
 - * (前)中央情報部北朝鮮情報局長
 - * (前)中央情報部心理戦局長
 - * (前)極東問題研究所所長
- 韓国外国語大学ロシア語課学士
慶熙大學政治学博士

- * 『北朝鮮全書』(1974)
- * 『共産主義 批判』(1981)
- * 「南北関係なぜいつも断絶するのか」(1995)
- * 北朝鮮問題における韓国最高の権威者であるカン元統一部初代長官が南北関係の歴史と韓国の安保問題を詳しく説明します。

テーマ:「北朝鮮と韓国の安保問題」



ジョン・グヒョン(정구현) 教授

- * (現)KAIST経営大学教授
 - * (前)Samsung 経済研究所所長
 - * (前)韓国経営学会会長
 - * (前)延世大学経営大学院院長
- ソウル大学経営学学士
ミシガン大学大学院経営学博士

- * 『革新の時間』(2016)
- * 『韓国の第3セクター』(2016)
- * 『我々はどこに向かっているのか』(2013)
- * 『韓国の企業経営20年』(2008)
- * 『韓国企業のグローバル経営』(2008)
- * 韓国を代表する経営学者が韓国経済の歴史と現状、そしてその展望をわかりやすくお伝えします。

テーマ:「韓国経済、激動の歴史と展望」



キム・ユン(김윤) 会長

- * (現)三養グループ会長
 - * (現)韓日経済協会会長
 - * (現)韓日産業・技術協力財団理事長
 - * (現)全国経済人連合会副会長
- 高麗大学経営学学士
Monterey Institute of
International Studies MBA

- * 2013年、「韓国経営者賞」
- * 2007年 金塔産業勲章
- 韓国最古企業の一つと言われる三養グループを率い、化学、食品、医薬バイオ等、幅広い領域で活躍する最高経営者

テーマ:「韓国企業の特徴と企業文化」

主な講師陣 (第1期)

その他、情報公開不可能な現役政府関係者を含め、超豪華講師陣が構成されております。紙面上の制限がございますので、全講座の講師陣情報をお求めの方は、次の宛先にてご申請いただければ資料をお送り致します。

宛先: gateway2korea@yonsei.ac.kr



シム・ギョソン(심규선) 大記者

- * (現)東亜日報大記者(常務)
 - * (現)東亜日報コンテンツ企画本部長
 - * (前)東亜日報東京支社支局長
 - * (前)東亜日報編集局長
 - * (前)東亜日報政治部長
- ソウル大学国語教育学学士

- * 韓国大手新聞社である東亜日報の元東京支社支局長であり、日韓両国のマスコミに詳しいシム大記者が、韓国社会におけるマスコミの特徴と役割、そしてその影響に対して詳しく説明します。

テーマ:「韓国社会とマスコミ」



キム・サンジュン(김상준) 教授

- * (現)延世大学政治外交学科教授
 - * (前)延世大学対外協力処長
 - * (前)現代日本学会会長
- 延世大学政治外交学学士
慶応大学大学院政治学修士
University of Chicago 政治学博士

- * 『韓国の大統領リーダーシップと国家管理』(2013)
- * 『再生する都市空間と市民参画』(日文、2014)
- * 「日本政治変化が総理の任期に与えた影響」(2013)
- * 「日本の安全保障と軍事活動性」(2013)
- * 延世大学が誇る日本政治専門家が、中立的観点から日韓関係の歴史とあるべき姿を語ります。

テーマ:「韓国政治、歴史的歩みと現在の座標」



Helen J.S. Lee(이힐렌) 教授

- * (現)延世大学Underwood 国際大学副教授
- Washington University, St. Louis 学士
Cornell University 修士
University of California, Irvine 博士

- * 『Reading Colonial Japan: Text, Context, and Critique』(2012)
- * 『Besieged Peace, Refracted War Memory: A Study of Kure, the Naval Port of Hiroshima Bay』(2015)
- * 日本、そして日本社会を最も客観的観点で研究してきた実力派教授。

テーマ:「ベトナム戦争から見る韓国社会文化分析」



イ・ソンゴン(이성권) 兼任教授

- * (現)東義大学兼任教授
 - * (前)KOTRA(韓国貿易投資振興公社) 常任監査
 - * (前)国会議員
 - * (前)駐日本神戸総領事
- 釜山大学哲学科学士
早稲田大学国際関係学修士

- * 『人災共和国を超え』(2015)
- * 『疎通は権力を勝つ』(2011)
- * 日本での留学の際には、自民党の河野太郎議員の秘書を務め、また、国会議員になつては韓日議員連盟で活躍するなど、日本に最も詳しい政治家として名を挙げるイ兼任教授が、韓国の貿易構造と戦略に対して語ります。

テーマ:「韓国政治の意思決定過程」

祝 辞



このたび、延世大学において、韓国駐在の日系企業の方々を対象とした講義プログラム「Gateway to Korea」を開始されましたこと、こころよりお祝いの言葉を述べたいと存じます。

韓国経済界に数多くのリーダーを輩出し、日本とも幅広い協力関係を有する延世大学が、そのネットワークと知見を生かして、韓国駐在日系企業の実際のニーズに即した様々なテーマに関する講義を提供することは、日韓経済関係の新たな飛躍のための機会と挑戦を前に仕事をしている全ての人々にとって、非常に時宜を得たことであり、私としても大変嬉しく思います。

このプログラムが、参加される日系企業の方々の韓国におけるビジネスの一層の促進につながることで、日韓経済関係の深化、ひいては日韓関係全体の発展に寄与することを期待しております。

(前)駐大韓民国日本国特命全権大使
別所 浩郎

何よりも、延世大学行政大学院に日系企業駐在員のための最高位過程が誕生しましたこと心からお祝い致します。また、そのため貢献していただきました延世大学の関係者の皆様に深く感謝いたします。

振り返ってみれば、過去から日韓両国関係は「近くて遠い」関係でありました。同時に、両国はお互い最も近い隣国として急変する国際舞台で肩を並べ、21世紀アジア太平洋時代を主導的に切り開くため、未来志向的な同伴者関係を構築していかなければならない関係でもありました。

今、世界的な流れや東アジアの変化過程からしても、日韓両国の協力は過去に例を見ぬほど最も重要な時期であり、このような時こそ強く要望されるものが、日韓両国の民間交流とお互いに対する高い理解力を持つ人たちの間でのネットワーク形成であります。

このような時期を迎え、韓国に在住する日系企業駐在員の方々と、韓国の大学が交流の架橋を設けるということは大いに励みになることであると存じます。

このような交流が韓国にいらっしゃる日系企業駐在員の皆様にとって、経済活動においての成功だけでなく、韓国に対する広く正確な理解と、韓国社会への迅速な適応、さらに、日韓両国の真の関係改善における主役になれる機会になることと期待しております。

韓日親善協会中央会 会長
(前)国会議長
キム・スハン(김수환)



Advanced

推薦の辞



私は韓国駐在10年目を迎え、自分なりに韓国の歴史や政治、経済について勉強し、たいの事は理解してきたつもりでいました。しかしながら、日韓関係の根底にあるものは何なのか、表向きでなく真の韓国人の考え方その真意を知りたくGateway to Korea開催の案内を見て直ぐに参加を決意しました。

さすがに延世大学とあって、著名人からの興味ある、ここでしか言えない本音の話を聞くことが出来、たいへん満足しております。

正直、第1回目とあって、不満点もいくつか御座いましたが、臨機応変なスタッフの対応もあり、不満点は直ぐに改善され、講義に対してもアンケートを取って、2回目はより内容の濃いものになると期待されず。

韓国で駐在している方々は肌では日本人と韓国人の差を感じている部分があると思われます。その差が何故あるのか、きちんとお互いの国の考え方を理解する必要があります。今時、韓国に来て日本の考え方を押し付けているような日本人はいないと思いますが、韓国人の考え方を理解しないで、マネジメントは言うまでも出来ません。

Gateway to Koreaは歴史的な背景から学ぶことが出来るだけでなく、韓国で著名な方々との人脈形成もできる良い機会です。

日韓関係は歴史的な背景のみならず、少しの誤解の積み重ねから生じています。

私自身これらを理解して、Gateway to Koreaを通じて日韓関係回復の懸け橋になればと思っております。

皆さんも色々な志を持って参加できる、そんなプログラムだと思われず。

KOREA MURATA Electronics 社長

Gateway to Korea 第1期 代表

藤本 征士

私が、Gateway to Koreaへ参加を考えたのは、韓国における政財界、教育機関、芸能界、から参加される著名な方々との人脈、そして、受講される日系企業TOPの素晴らしい方々との出会いを得たいと考えたからです。自身、韓国在住7年目、2016年下期より韓国で独立起業したこともあり、その思いは更に募り、参加を決定するに至りました。

まず、お伝えしたいのが延世大学の素晴らしく美しいキャンパスです。学生が行きかう中を通り抜け、学び含んで向かう空気感は、自身が学生時代にタイムスリップしたような高揚感を得られ、あの時の自分を思い返せます。また、主催者側の粋な計らいで、講義前に講堂内で参加メンバーと食事ができるのですが、これがメンバー間交流を深め、リラックスした雰囲気の中で講義に臨める状態を演出しています。そして、本題の講義ですが、これが圧巻です！講師陣の母国韓国への愛情の深さ、日韓関係への思いの深さ、これが前提となり、政治、経済、文化、芸術、日韓問題等々、ご自身の視点で鋭く論じられるため、自分の知識欲がどんどん満たされていき、前のめりになって受講されること請け合いです。

最後に、主催者と第1期生連携を取り、改善点を都度ブラッシュアップしてきましたので、我々以上の満足度を第2期生の方々は得られるものと確信をしております。是非受講されることをお勧めします。

(株) Absolute Design 社長

Gateway to Korea 第1期 幹事

足利 成司



Executive Program

YONSEI,

Leading the Way to the Future

登録申し込み案内

第2期(2017年3月)、延世大学『Gateway to Korea-日系企業駐在員のためのAEP』へ登録ご希望の方は、次の情報をメールに記入し、右下の宛先までお送りください。

- ❶ 氏名:漢字(ふりがな)/英文
- ❷ 所属・肩書(職名)
- ❸ 連絡先:e-mail / 電話番号(携帯)

宛先: gateway2korea@yonsei.ac.kr

メールを送りいただいた方に「登録書」ファイルを返信しますので、そちらを記入して返送していただくことになります。

※ 第3期(2017年9月)優先申し込み受付

第3期への登録をご希望の方を対象に優先登録を受け付け致します。

第2期への登録が困難であり、第3期への登録を事前確定しておきたい方は、メールに「第3期登録希望」と書いた上、上記の❶~❸の内容を同宛先までお送りください。

お問い合わせ(※日本語対応可能)

• e-mail : gateway2korea@yonsei.ac.kr • 電話:0508-5181-7868 又は 0508-5097-4252



YONSEI UNIVERSITY

03722 大韓民国ソウル特別市西大門区延世路50番地